

チーム えがお

【学校教育目標：自ら学び 心優しく たくましく生きる児童の育成】
「かしこく」自ら学ぶ子 「やさしく」心豊かな子 「たくましく」やりぬく子



発行者：校長 岡田達也



～ えがお かがやき がんばる 学校 おうえんだん「チーム北川」～

昔からの知恵で

今がある！



3年生は、地域のみなさんの力をお借りしながら、社会科で地域のいろいろなことについて学んできました。今は、「昔の道具と人々の暮らし」について学習しています。その一環として、3日(金)には地域の方々の協力を得て、昔の遊びについてインタビューしたり、外で七輪を使ってお餅やスルメを焼いたりする活動を行いました。普段、子どもたちはテレビやゲームで遊んだり、家庭で電気やガスを使ったりしているため、地域の方々のお話や七輪体験はとても新鮮だったようです。子どもたちは、興味や関心をもって活動していました。

班ごとに地域の方々に昔の遊びを教えてくださいたい際には、子どもたちは事前に考えた質問以外に、お話を聞きながら思ったことを含めて、時間いっぱい質問していました。また、新聞紙や薪や炭で火をおこすことに悪戦苦闘しながらがんばっていました。「火をつけるのはたいへんだね。」「少しこげたけどうまく焼けたね。」などと、楽しそうに友達と会話しながら活動していました。そして、地域の方々と一緒に七輪で焼いたスルメやお餅をとってもおいしそうに食べていました。

こうした活動を通して、子どもたちは、聞いたり体験したりしなければ分からないことを、実感をもって学ぶことができました。懐かしそうに昔の遊びについて話してくださる地域の方々のお話にワクワクしながら聞き入る子どもたちの表情、火がついたときの「やった！」という声は、心からの喜びや驚きそのものでした。みなさんのおかげで、昔の世界にタイムスリップしたようなひとときでした。

子どもたちが生きていく未来は、科学技術の進歩や高度情報化社会の進展により、ますます便利な世の中になっていくことはまちがいありません。しかし、今も受け継がれている「昔からの知恵＝先人の教え」を大切に、これからの時代を生きてほしいと願っています。昔があるから、今があるのです。



今一度 徹底！「北川小学校 ABCD」の原則を・・・

2月に入り、卒業式、修了式まであと2か月足らずとなりました。実際に学校に来る日は、今日7日(火)から数えて、6年生があと29日、4・5年生があと33日、1・2・3年生があと32日です。卒業や修了までの残された日々を「どのように過ごすか」がとても大切です。月曜日の朝会では、子どもたちに次のような話をしました。

本校の目指す子ども、「かしこく」「やさしく」「たくましく」なるために、一人一人が努力して過ごしてほしいと思います。「時間」は黙っていても、何もしなくても、当たり前のように、みんな平等に過ぎていきます。その時間をどう過ごすかは、一人一人の問題です。努力して過ごせば、きっと充実した時間になります。「あたりまえのことを ばかにしないで ちゃんとする人が できる人です!」のように、学校生活の中で当たり前のことをきちんとできるように、「自分にできることをする」努力を続けてほしいと思います。

人の性格はなかなか変わらないと言われますが、決してそうではありません。普段つかっている言葉や普段とっている行動を変えることで、少しずつ性格も変わっていきます。優しい言葉をつかったり、やさしい行動をとったりすれば、性格も優しくなっていきます。自分で気をつけて優しい言葉をつかったり、行動したりするのが「努力」なのです。ぜひ、時間をただ過ごすのではなく、自分で努力して自分を成長させてください。

2月の生活テーマは、「友情」です。残りの時間を、思いやりの気持ちをもって友達と協力しあって過ごさせていきたいと思っています。

